

# 田村 正幸

湯沢町長



明けましておめでとうございます。

令和8年の年頭にあたり、町民の皆さまへ謹んで新年のお慶びを申し上げます。また、日頃から町政に対し、温かいご支援とご協力を賜り、心から御礼を申し上げます。

昨年の町長選挙では、8年ぶりに無投票での再選となり、4期目の町政運営を担わせていただくことになりました。改めてその責任の重さを痛感しております。12年間の経験を活かし、先人が培ってきた湯沢の良さと伝統を大切にしつつ、変化に挑戦して町の発展に全力で取り組んでまいります。

昨年を振り返りますと、「令和の米騒動」と呼ばれた米不足問題に社会全体が翻弄されるとともに、物価上昇にも悩まされることとなりました。4月には大阪・関西万博が開催され、10月の閉幕が近づくにつれ多くの人が来場しました。町民の皆さまの中にも足を運んだ方がいらっしゃったのではないかでしょうか。そして、湯

沢町でも悩まされたのが全国的に相次いだ熊の出没です。町の中心部でも目撃情報が多く寄せられ、対応に苦慮しました。尽力いただいた皆さまには改めて感謝申し上げます。

湯沢町にとっては、町制施行70周年の節目を迎えた年でした。昭和30年3月、湯沢村・神立村・土樽村・三俣村・三国村の五村が合併して誕生した湯沢町は飛躍的な発展を遂げてきました。10月には町制施行70周年記念式典を開催し、多くの方々とともに祝いすることができました。

また、湯沢学園が学園創立10周年の年でもありました。次の節目に向けて、全力で注力してまいる所存です。

本年の町政にあたりましては、昨年末の所信表明でも述べましたが、総合計画の将来像「君と一緒に暮らす町」を念頭に、特に総合戦略の重点目標である「若者が生活の場として選択する町」の実現に向け、観光業を中心とした産業振興、若者や子

もに、オリンピックを契機にワインタースポーツが更なる盛り上がりをもたらす。日本選手の活躍を期待するとともに、オリンピックを契機にワインタースポーツが更なる盛り上がりを見せて、当町へもより多くのお客様がいらっしゃることを祈っています。

結びに、この一年が皆さまにとって素晴らしい一年となりますことをご祈念申し上げまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。